

令和 6 年度事業計画

令和 6 年 3 月

公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター

・概 要

<令和6年度事業基本方針>

令和6年度は、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターの第4期「中期計画」の折り返し期にあたることから、上半期の事業効果や進捗状況を検証し、新型コロナウイルス感染症、人口減少による人手不足などにより、人々に生じた行動変化に対応するために、人や地域との関係づくりに重点を置き、当計画のコンセプトである『阿蘇 リレーション ～つながる阿蘇』の到達を目指し、地域住民と阿蘇地域を訪れる人々にとって魅力あふれる持続可能な阿蘇づくりを推進します。

また、具体的な取組みを進める上でのキーワードとして『人材育成』『関係人口』『伴走支援』を柱として、地域づくりの担い手を育てるとともに、移住定住対策だけではなく関係人口拡大に向けた取組みを重点的に進めます。同時に観光振興、起業化支援、人的ネットワークの拡充に取り組み、地域に還元します。

☆（公財）阿蘇地域振興デザインセンターの役割

DMO とプラットフォーム (PF)

	DMO（観光地域づくり）	まちづくりプラットフォーム
視 座	短期的成果重視 マーケティング志向	長期的成果重視 ブランディング志向
業 務	仕掛け・仕組みづくり （外から人を呼び込む） 今を生きる	土壌づくり（まちづくり活動） （小さな経済活動の種が育つ・人材育成） 未来をつくる
目標設定	KPI（重要業績評価指標）	KGI（重要目標達成指標）

<令和6年度の主な取組み概要>

① 地域振興分野では、同計画の上半期に取り組んだ「あそ未来創造塾」や「観光地域づくりリーダー育成講座」などの「人材育成事業」を契機に誕生した横断的な「内外人材とのネットワーク」をベースに、これからの過疎地域の様相である持続可能な低密度社会、言い換えれば「豊かな少数社会」を目指して、その中核となる「阿蘇地域を担う次世代や新しい業」の育成を図るために「伴走支援」します。

② 観光振興分野では、TSMCの熊本進出や台湾⇄熊本間定期便の航空大手2社の参入や香港定期便などのアクセス強化による熊本空港の利便性の向上により、台湾や香港からの旅行者増がさらに見込まれること、特に、今後ミニツアーへの需要が高まることを受けて、熊本空港でのPR活動の継続や顧客を多く持つ台湾甲種旅行社との連携強化を図ります。

また、令和4～5年度に取り組んだ観光庁事業（台湾旅行者ミニツアー造成と販売）を関係市町村と連動した取組みに波及させ「Undiscovered ASO」の魅力発見と情報発信を促進します。

さらに、2025年開催の「大阪万博」を念頭に置いた欧米豪向けのコンテンツ造成（観光庁事業）を基盤として、広域的な深掘りの体験コンテンツを磨き上げます。

新たなアクティビティとして、観光DXを織り込んだデジタルバッジキャンペーンやゲームの世界と日常とを組み合わせたコンテンツ造成にも挑戦し周遊行動を促します。

<基本財産運用に関して>

長引くロシアのウクライナ侵攻により、資源大国であるオーストラリアの輸出増が続くことで、当財団の基本財産収入の主たる参照為替通貨である豪ドルの高値安定が続いています。各証券会社における来年度の見込みも、当分はこの状態が維持されるだろうとしています。

<その他>

次世代を担う新たな人材（事務局長候補）の確保と育成に尽力します。

また、阿蘇エコツーリズム協会と阿蘇グリーンツーリズム協議会との連携を深めます。

<公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター公益事業について>

(令和4年度から令和8年度 中期計画)

公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～

(取組み1 地域資源を磨き上げる)

- ア 草原再生PR事業
 - (1-① 草原再生保全支援事業)
- イ 野焼き支援事業
 - (1-② 野焼き支援事業)
- ウ 阿蘇産品の振興
 - (1-③ 阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)
- エ 世界ブランド事業の推進
 - (1-④ 世界ブランド事業の推進)

公益目的事業2 地域の元気再生による地域力向上

(取組み2 人を育て活動を支える)

- ア 地域元気再生支援事業
 - (2-① 住民主体による地域づくり活動の支援)
- イ 的確な情報の発信
 - (2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)
- ウ 阿蘇回帰運動への取り組み
 - (2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み)
- エ 人材育成事業
 - (2-② 地域づくりを担う人材の育成)

公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり

(取組み3 人や資源をつなげ新たな価値を生み出す)

- ア 新たな阿蘇資産の構築・推進
 - (3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)
- イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり
 - (3-② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)
- ウ 広域連動型観光まちづくり事業
 - (3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)

<令和6年度収支予算(案)>

○収入について 94,212千円・・・①

- (内訳) 基本財産運用益・・・・・・・・・・78,634千円
- 受取国庫補助金・・・・・・・・・・15,178千円(観光庁事業)
- 受取民間助成金・・・・・・・・・・400千円

- ・運用益については、平均で米ドル 130円 豪ドル95円と予測する。
- ・補助金、負担金等については、現段階での見込額である。

○支出について 102,853千円・・・②

- ・人件費按分前の支出見込額
- (内訳) 事業費・・・・・・・・・・69,965千円
- 管理費・・・・・・・・・・32,888千円

- 人件費按分後の支出見込額
- (内訳) 事業費・・・・・・・・・・86,257千円
- 管理費・・・・・・・・・・16,596千円

- ・事業費については観光庁補助事業等が未確定のため変動が予想される。

○単年度収支差額 ①-②= ▲8,641千円・・・③

○前年度(R5年度)繰越見込額 4,000千円・・・④

○繰越収支差額見込額 ③+④= ▲4,641千円

<中期計画に基づく事業計画>

(公財)阿蘇地域振興デザインセンターの中期計画に基づく令和6年度の事業計画の概要は次のとおりとする。

事業番号 (中期計画における 取組番号)	事業の内容	個別事業名 (中期計画における取組内容)	予算額 (単位：千円)
公1 (取組み1)	豊かな自然 による世界 ブランドの 確立 ～阿蘇草原の 維持・再生～	ア 草原再生 PR 事業 (1-① 草原再生保全支援事業)	4,505
		イ 野焼き支援事業 (1-② 野焼き支援事業)	1,505
		ウ 阿蘇製品の振興 (1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)	2,800
		エ 世界ブランド事業の推進 (1-④ 世界ブランド事業の推進)	10,005
		(公1事業費計)	18,815
公2 (取組み2)	地域の元気 再生による 地域力向上	ア 地域元気再生支援事業 (2-① 住民主体による地域活動の支援)	6,050
		イ 的確な情報の発信 (2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)	4,200
		ウ 阿蘇回帰運動への取り組み (2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み)	2,100
		エ 人材育成事業 (2-② 地域づくりを担う人材の育成)	4,700
		(公2事業費計)	17,050
公3 (取組み3)	広域連携 による 競争力のある 観光地づくり	ア 新たな阿蘇資産の構築・推進 (3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)	4,800
		イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり (3-② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)	3,700
		ウ 広域連動型観光まちづくり事業 (3-③ 広域連携による観光地域づくりの推進)	25,600
		(公3事業費計)	34,100
事業費合計 (人件費按分前)			69,965

II. 事業内容

【公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～】

(取組み1 地域資源を磨きあげる)

阿蘇特有の草原をはじめとした豊かな地域資源を阿蘇地域全体の地域活性化につなげていくため、地域資源を発掘し、維持・継承を支援するとともに、世界に通じるブランドとして確立するための取組を展開していきます。

ア 草原再生 PR 事業

(1-①草原再生保全支援事業)

事業内容	阿蘇が有する広大な草原は、千年もの間、人々の生業とともに維持されてきたものであり、草原の持つ、畜産、農業、水源涵養、観光といった多面的な機能を次世代へと継承していくため、その価値や現状を地域内外に発信し、草原の維持・再生に向けた普及・啓発に取り組みます。	
	【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】	
予算額	【総額】 4, 505 千円	
	① 阿蘇草原保全支援システム負担金	4, 500 千円
	② 事務経費	5 千円

イ 野焼き支援事業

(1-②野焼き支援事業)

事業内容	阿蘇の草原を維持するためには、毎年の放牧・採草・野焼きが必要です。担い手の高齢化や後継者不足を解消するため、地域内外からのボランティアが野焼き支援や輪地切り活動を支えています。 阿蘇草原再生協議会や阿蘇草原保全支援システムと連携を図り、野焼き支援をはじめとする草原再生に取り組みます。	
	【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】	
予算額	【総額】 1, 505 千円	
	① 阿蘇草原保全支援システム負担金	1, 500 千円
	② 事務経費	5 千円

ウ 阿蘇産品の振興

(1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)

事業内容	<p>あか牛をはじめとする阿蘇地域の畜産や農産物、食文化や景観、人々の暮らしや生業など、多様な阿蘇資源を再発見（リディスカバリー）・再生（リバーズ）し、その魅力を発信します。また、阿蘇資源が次世代に継承され、阿蘇の世界ブランド確立の礎となるよう、イベントや各種PRを通してブランド価値の維持と向上に取り組みます。</p>								
事業内容	<p>【1 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業】 SDGsにおける15番「陸の豊かさを守ろう」の活動として、地域で育てたものを、その地域で消費する地産地消及びその地域で販売する地産地商は、地域資源の保護にも繋がります。 この視点に立ち「地元の食材を地元で食べたい」という消費者のニーズに応えるキャンペーンを行うことで、交流人口の創出を図ると共に、SDGsにも寄与します。</p> <p>「阿蘇の食卓 Vol. 4」の発行 好評を博している阿蘇の食卓 Vol. 4 を発行予定</p> <p style="text-align: center;">阿蘇の食卓 VOL3「阿蘇珈琲物語」</p>  <p>【2 関係人口とのパートナーシップによる産品の振興や景観づくり】 地域や地域の人々など、多様に関わる人々とのパートナーシップを組むことで、産品の振興を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「ヨカトコ」の続編（予定） ・あか牛ハンバーグマップ増刷（予定）  <p>【3 第3回阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業】 阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコースの更なる利活用を進めるために、阿蘇世界農業遺産推進協会と連携を図り、新たな事業を構築します。同時に阿蘇産品のPRも行います。 （阿蘇神社の復興フットパス・手野コースを予定）</p>  <p style="text-align: center;">第2回フットパス魅力化事業</p>								
予算額	<p>【総額】 2, 800千円（補助金予定／400千円）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業</td> <td style="text-align: right;">1, 300千円</td> </tr> <tr> <td>② 関係人口とのパートナーシップによる産品の振興</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業</td> <td style="text-align: right;">800千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> </table>	① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	1, 300千円	② 関係人口とのパートナーシップによる産品の振興	500千円	③ 阿蘇世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業	800千円	④ 事務経費	200千円
① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	1, 300千円								
② 関係人口とのパートナーシップによる産品の振興	500千円								
③ 阿蘇世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業	800千円								
④ 事務経費	200千円								

エ 世界ブランド事業の推進

(1-④世界ブランド事業の推進)

事業内容	<p>平成25年5月の「世界農業遺産」の認定、平成26年9月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定に続き、令和4年12月、2回目の世界再認定、阿蘇世界文化遺産の登録推進など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、関係団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けて取り組みます。</p> <p>【1 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金】 世界に通じるブランドを目指す「阿蘇ジオパーク基本計画」を核とした阿蘇ジオパーク推進協議会の活動や新たな展開を支援します。</p>	
予算額	【総額】 10,005千円	
	① 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金	10,000千円
	② 事務経費	5千円

【公益目的事業2 地域の元気再生による地域力の向上】

(取組み② 人を育て活動を支える)

持続可能な地域づくりのためには、地域づくりを担う人材が必要不可欠です。地域住民により主体的に取り組まれてきた地域づくり活動を支えるとともに、新たな担い手を発掘・育成するための取組を展開します。

ア 地域元気再生支援事業

(2-①住民主体による地域づくり活動の支援)

事業内容	<p>【1 阿蘇地域元気再生支援事業】 想定外の熊本地震やコロナ感染などを体験したことで生まれた地域住民や団体・組織等により、自発的に行われてきた地域の元気を取り戻すための活動や観光行動などに対し、引き続き助成事業を行います。 上記の内容を目的とした各市町村の地域団体や組織が行う事業（自治体の推薦必須）に対し、限度総額750千円の助成（助成金の額は助成対象経費の60%以下）を行い支援します。</p>	
		
		
	▲令和5年度の事業例	
予算額	【総額】 6,050千円	
	① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金	6,000千円
	② 事務経費	50千円

イ 的確な情報の発信

(2-④情報の一元化と戦略的な情報発信)

<p>事業内容</p>	<p>市町村や関係機関と連携しながら、阿蘇管内にある様々な情報を阿蘇 DC 内で一元化し、阿蘇情報のポータルサイトや各種広報媒体を活用し、戦略的な情報発信を行うとともに、魅力的なコンテンツづくりに取り組みます。</p> <p>【1 観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守】 阿蘇ナビ (http://aso-navi.com) の拡充を図り、来訪者特に台湾に向けて阿蘇地域の旅や食及び交通アクセスなどの情報を発信します。</p> <p>【2 阿蘇 DC ホームページの管理・運営・保守】 阿蘇 DC 公式ホームページ (http://www.asodc.or.jp/) を引き続き運営し、阿蘇地域元気再生支援事業や各研修会を始めとする阿蘇 DC の事業や活動を広く発信します。</p> <p>【3 身近な情報媒体などでの情報の発信】 阿蘇地域の CATV やコミュニティ FM や SNS などを活用し、多方面にわたり情報を引き続き発信します。 令和 6 年度は、台湾本国や半導体関連企業の社員などをターゲットにした繁体字による情報発信を継続します。(台湾では Facebook が主流) 台湾向けの Facebook で紹介した繁体字による阿蘇地域の観光や暮らしの案内文を冊子にまとめ、各種商談会・説明会や県内の TSMC 関係者用に情報を発信します。 閲覧数 63,370 人 (2024 年 2 月 28 日現在)</p> <p>【4 情報誌の制作】 阿蘇 DC の事業内容や地域元気再生支援事業の実施などを掲載した情報誌「aso lulu」を制作し、広く一般の方々に情報の発信を図ります。</p> <p>注・・・ワル・マックス氏制作の表紙絵が話題となる。</p> <div data-bbox="1037 1220 1300 1579" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">▲aso lulu</p>										
<p>予算額</p>	<p>【総額】 4,200 千円</p> <table border="0"> <tr> <td>① 阿蘇ナビの管理・運営・保守</td> <td style="text-align: right;">500 千円</td> </tr> <tr> <td>② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 身近な情報媒体等での情報の発信</td> <td style="text-align: right;">2,500 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 情報誌の制作 (aso lulu)</td> <td style="text-align: right;">650 千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 事務経費</td> <td style="text-align: right;">250 千円</td> </tr> </table>	① 阿蘇ナビの管理・運営・保守	500 千円	② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費	300 千円	③ 身近な情報媒体等での情報の発信	2,500 千円	④ 情報誌の制作 (aso lulu)	650 千円	⑤ 事務経費	250 千円
① 阿蘇ナビの管理・運営・保守	500 千円										
② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費	300 千円										
③ 身近な情報媒体等での情報の発信	2,500 千円										
④ 情報誌の制作 (aso lulu)	650 千円										
⑤ 事務経費	250 千円										

ウ 阿蘇回帰運動への取り組み

(2-③阿蘇ファン拡大に向けた取組み)

<p>事業内容</p>	<p>人口減少・高齢化により、阿蘇地域でも地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。これまでの移住・定住促進だけでなく、阿蘇地域にルーツがある人や居住・滞在経験のある人など、阿蘇地域に何らかの関わりがある人々（関係人口）とのつながりを保つことにより、阿蘇ファンや阿蘇サポーターを増やす取り組みを進めます。</p> <p>【1 新たな関係人口創出事業】 地域に住む人々だけでなく、地域外から地域の行事などに参加するなどの「関係人口」の存在は、地域住民との交流において新たな価値を生み、地域の活性化や将来的な移住者の増加にもつながることが期待されます。 令和5年度において、関係人口 Web サイトを構築し、交流による情報のやり取りを図りました。 令和6年度においては、運用を拡充し関係人口による阿蘇ファンの拡大に取り組むために、あそ未来創造塾生が構築した「フリースペース」などを活用し、関係人口 Web サイトの運用を強化します。</p> <p>【2 大都市圏における関係人口相談事業】 働き方の変化により生まれた大都市圏からの流入の動きが顕著となるなか、ふるさと回帰（移住定住や関係人口）に関する相談の場を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏移住定住相談会 東京会場に16名が参加（令和5年度） ・阿蘇地域相談者数 450名 ・移住者数 123名 （令和4年度実績 5年度は集計中） <p>ふるさと回帰支援センター移住定住相談チラシ ▶</p>  <p>【3 阿蘇地域移住定住研修会】</p> <p>担当者等の情報交換とスキルアップや先進的な考え方や取り組みについての学習の機会と情報の共有を図るために研修会を開催します。</p>  <p>▲移住定住担当者研修会</p>								
<p>予算額</p>	<p>【総額】 2, 100千円</p> <table border="0"> <tr> <td>① 新たな関係人口創出事業</td> <td>800千円</td> </tr> <tr> <td>② 大都市圏における関係人口相談事業</td> <td>800千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇地域移住定住研修会</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td>200千円</td> </tr> </table>	① 新たな関係人口創出事業	800千円	② 大都市圏における関係人口相談事業	800千円	③ 阿蘇地域移住定住研修会	300千円	④ 事務経費	200千円
① 新たな関係人口創出事業	800千円								
② 大都市圏における関係人口相談事業	800千円								
③ 阿蘇地域移住定住研修会	300千円								
④ 事務経費	200千円								

エ 人材育成事業

(2-②地域づくりを担う人材の育成)

<p>事業 内容</p>	<p>地域課題の解決や地域活性化につながるよう、具体的なアクションにつなげるための学び直し（リカレント教育）の機会として、人材発掘や人材交流などを目的としたセミナーや研修会の開催など、人が学びつなげる場の提供に努めます。また、ビジネスを通じて地域づくりに取り組む意欲のある次世代の起業支援を行います。</p> <p>【1 令和6年度 あそ未来創造塾】 人口減少を克服し、地域経済を活性化させるための地方創生の一貫として開講した「あそ未来創造塾」。これまでの成果に加え、阿蘇地域を横断する人的ネットワークを拡充するために、令和6年度も引き続き開講します。 (令和3年度11名、令和4年度11名修了 令和5年度12名修了+聴講生1名)) (熊本大学熊本創生推進機構との連携事業)</p> <p>【2 地域振興などに関するキャリア教育】 次世代が地域に目を向け、将来的に地域づくりを担うきっかけとなるよう、若年層へのキャリア教育に取り組みます。 ・実施例 令和4年度小国高校 (小国高校ギフト) 令和5年度阿蘇中央高校 (展示スペース) ・令和6年度予定校 高森高校</p> <p>【3 地域づくりセミナー】 地域づくりなどに関する研修会などを開催し、地域振興を担う人材育成や先進的な取り組みについての見識を深めます。年3回開催を予定。</p> <p>① WAKU WAKU する地域づくり ② 台湾セミナー ③ デザインから見る阿蘇の可能性 (令和5年度開催)</p>								
<p>予算額</p>	<p>【総額】 4,700千円</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">① 令和6年度 あそ未来創造塾</td> <td style="text-align: right;">3,500千円</td> </tr> <tr> <td>② 地域振興などに関するキャリア教育</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> <tr> <td>③ 地域づくりセミナー</td> <td style="text-align: right;">750千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> </table>	① 令和6年度 あそ未来創造塾	3,500千円	② 地域振興などに関するキャリア教育	150千円	③ 地域づくりセミナー	750千円	④ 事務経費	300千円
① 令和6年度 あそ未来創造塾	3,500千円								
② 地域振興などに関するキャリア教育	150千円								
③ 地域づくりセミナー	750千円								
④ 事務経費	300千円								



▲令和5年度あそ未来創造塾



▲キャリア教育



▲第2回セミナー

【公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり】

(取組み③ 人や資源を繋げ新たな価値を生み出す)

阿蘇を中心とした他県の周辺地域も巻き込みながら、多様な人材や地域資源をつなげることに
より、阿蘇地域ならではの魅力的なコンテンツづくりに取り組むとともに、国内外からの受け入
れ体制を整え、地域連携 DMO として、観光客と地域住民双方に配慮した持続可能な観光地域づ
くりを目指します。

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

(3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)

<p>事業 内容</p>	<p>人々の価値観の多様化やコロナ禍後の新たな観光様式などにより、観光地に 求められるコンテンツにも変化が生じています。 阿蘇地域の人々が暮らす場を舞台とした交流機会の創出、地域住民との交流 や体験を目的とした滞在型観光の開発など、「食と農、暮らし、景観」をテー マとした阿蘇らしい新たな観光ツールを提案します。</p>
<p>事業 内容</p>	<p>【1 付加価値の高いアクティビティの構築】 阿蘇地域の新たなアクティビティとしてロゲイニングを、阿蘇地域の南・ 中・北エリアで4回開催しました。その結果、「観光ロゲイニング」として、各 地で開催されるようになりました。 そのことから、「デジタルバッジキャンペーン」 というロゲイニングの進化系である新たなアクテ ィビティの展開を図ります。</p>  <p>デジタルバッジキャンペーンとは・・・ 登山愛好者には山小屋やふもとの売店で販売されている登山バッジを収集する (バッジコレクター)文化があります。 このキャンペーンは山頂などのアウトドアスポットと温泉・物産館などの消費 が見込まれるスポットにランドマーク(訪問スポット)を設定し、ランドマー クを訪れることによりバッジを取得できるシステムを構築することにより、両 スポットを結び付け阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進するものとなっ ています。</p> <p>経済効果の予測 ・観光消費額(1名) 4,000円 ・宿泊費 15,000円 ・参加予定数 3,000名(宿泊者 600名) ・見込み経済効果 約18,000,000円</p> <p>【2 阿蘇エコツーリズム協会の支援】 阿蘇地域の豊かな自然や景観を地域資源としたエコツーリズム協会の体験活 動に対し負担します。</p> <p>【3 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援】 農家民宿の運営者による同協議会を核にした阿蘇地域における「農泊」を確 立することで、アフターコロナに向けた受け入れ強化を促す体験事業に対し負 担します。</p> <p>【4 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金】 平成31年2月に開設された阿蘇山上ビジターセンターの運営協議会に、オ</p>

	<p>ブザーバーとして参画し、情報を収集するための調査活動に対し協議会費を負担します。</p> <p>【5 (公社)熊本県観光連盟へ参画】 県内における観光事業の振興を図り、併せて魅力ある観光地づくりと、国内及び国外からの観光客誘致を行う上記団体への調査・収集に参画し、情報の共有化と連帯化に繋がります。</p>
予算額	【総額】 4,800千円
	① 付加価値の高いアクティビティの構築 3,500千円
	② 阿蘇エコツアーリズム協会負担金 300千円
	③ 阿蘇グリーンツアーリズム協議会負担金 300千円
	④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金 100千円
	⑤ (公社)熊本県観光連盟負担金 100千円
	⑥ 事務経費 500千円

イ 何度も訪れたい観光地域づくり

(3-2) 何度も訪れたい観光地域づくりの推進)

事業内容	<p>阿蘇地域への観光客の特徴として、リピーター率が高い傾向があり、何度も訪れる中で地域との関係が生まれ、移住につながるケースも見られます。また、SDGsにおいては、住み続けられるまちづくりのために、都市部と周辺部・農村部が良好につながる必要性が示されています。</p> <p>そのため、「何度も訪れる旅、通う旅」(リビジット)に向けて、阿蘇地域の四季折々の表情、個性豊かな地域ごとの魅力、地域の食材を生かした食、訪れるたびに得られる発見・体感など、様々な魅力を活かして、何度も訪れたい観光地域づくりに取り組みます。</p>
	<p>【1 国内旅行者誘客創出事業】 コロナ感染対策緩和や旅行支援による国内旅行者に向けて誘客に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女子旅(シニア旅)」などへの出展 女子旅の需要が高まるなか、阿蘇地域でもいくつかの女子旅コンテンツが完成されています。令和6年度は、ターゲットを平日の観光行動の主流とも言えるシニア女性に絞った阿蘇地域周遊の女子旅キャンペーンを行い、予定されている女子旅フェアに出展します。 ・道の駅や物産館などを巡る周遊ツアー造成 九州管内には150近くの道の駅と多数の物産館があり、特色ある地域の安全な特産物を巡る国内旅行者が、新型コロナウイルス5類移行後に、顕著になっています。 <p>阿蘇地域にも6つの道の駅があります。加えて物産館や直売所も多数あり、静かなブームとなっています。今後、キャンプなどのアウトドア指向やシニア世代を取り込んだ周遊の旅を造成します。</p>



▲道の駅阿蘇

	<p>【2 マイクロツーリズム事業】 来訪者ヒアリングによる調査や SNS のフォロワーの傾向で判明した旅の出発地（関東・関西及び中国地方）や台湾半導体企業（菊陽町）に対し、地域の魅力の再発見を体験する旅の創出に取り組みます。（熊本国際空港で映像プロモーション活動等やコアミックスとの連携により発信力の強化を図ります。）</p>								
	<p>【3 各種観光 PR 事業】 各マルシェや主催事業などに参加・出展し、阿蘇地域への誘客に繋がります。</p>	<p>▲新熊本国際空港</p>							
予算額	<p>【総額】 3, 7 0 0 千円</p>								
	<table border="0"> <tr> <td>① 国内旅行者誘客創出事業</td> <td>1, 5 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>② マイクロツーリズム事業</td> <td>1, 2 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 各種観光 PR 事業</td> <td>5 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td>5 0 0 千円</td> </tr> </table>	① 国内旅行者誘客創出事業	1, 5 0 0 千円	② マイクロツーリズム事業	1, 2 0 0 千円	③ 各種観光 PR 事業	5 0 0 千円	④ 事務経費	5 0 0 千円
① 国内旅行者誘客創出事業	1, 5 0 0 千円								
② マイクロツーリズム事業	1, 2 0 0 千円								
③ 各種観光 PR 事業	5 0 0 千円								
④ 事務経費	5 0 0 千円								

ウ 広域連携による競争力のある観光地づくり

(3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)

事業内容	<p>阿蘇地域を構成する 8 市町村だけでなく、他県の周辺地域や全国観光圏との連携を図り、阿蘇 DC の人的ネットワーク等を活用しながら、地域連携 DMO として、広域周遊型の観光まちづくりの構築・発展を目指します。 また、インバウンドの再来を見据え、外国人観光客の受入れに対応できる環境整備に取り組みます。</p> <p><阿蘇くじゅう観光圏事業・・・地域連携 DMO> 令和 6 年度は、アフターコロナを念頭に、増加が予測される訪日外国人旅行者や国内旅行者の活発な動きが本格化に対し、積極的な活動を展開します。 訪日外国人旅行者への対応については、東アジア圏からの誘客に努めます。 特に台湾台北からの定期便 2 社の運航参入を最大のチャンスと捉え、台湾旅行社（甲種旅行業組合）との連携強化に尽力します。 また、欧米豪からの誘客に関しては、より地域を深掘りできるような体験コンテンツ造成を図ります。</p> <p>国内外から選好される国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成に向け、全国観光圏推進協議会と連動を継続し、満足度（マーケティング）調査や「Undiscovered Japan」などの展開に努めます。 令和 6 年度は、観光圏整備法に基づいて作成した第 3 期阿蘇くじゅう観光圏整備計画に則り、管内の関係市町村や全国観光圏推進協議会と協働した活動を促進</p> <p>【1 地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業】（観光庁） (1) <阿蘇くじゅう観光圏に関する事業（案）> ・阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査（満足度調査） （阿蘇 DC、竹田市、高千穂町） ・全国観光圏推進協議会共通申請事業（定率補助・30%） 全国観光圏推進協議会事業（研修会など） Undiscovered Japan 情報発信事業（補助対象外）</p>
------	--

事業
内容

【2 九州3観光圏連携事業】

九州3観光圏連携によるインバウンド誘客プロモーション事業や3観光圏周遊創出及び連絡調整会議開催

- ・3観光圏周遊創出事業
- ・連絡調整会議開催

【3 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業】

全国観光圏推進協議会とサクラクオリティ委員会の取り組みと連携を図ります。

- ・サービスレベル維持及び向上
- ・積極的な情報発信のための調査

【4 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援】

コロナ感染収束を見据えて、インバウンド誘客や国内旅行者誘客を図るために「ツーリズム EXPO2024」への出展における情報収集や阿蘇くじゅう高千穂地域の中核組織である観光地域づくりマネージャー会議や観光地域づくりマネージャーの育成及び現マネージャーのスキルアップ研修会の開催を継続します。



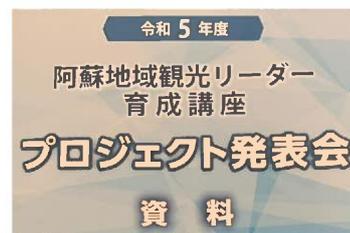
▲ツーリズム EXPO2023

【5 令和6年度阿蘇地域観光リーダー育成講座】

魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成するために、各地域の情報収集や調査をもとに、地域全体のレベルアップを図り、引き続き、魅力的な商品企画を提案出来る人材育成を進めます。

なお、令和5年度は、関係市町村及び観光協会などから12名の受講生が、それぞれの地域資源などを活かした旅行商品を造成しました。

(修了生 令和3年度10名 令和4年度12名)



▲令和5年度発表会資料

【6 地域観光新発見事業】(観光庁)(定率補助)

- ・台湾からの訪日外国人旅行者をターゲットにしたコンテンツ造成(1本)
- ・欧米豪からの訪日外国人旅行者や国内旅行者をターゲットにしたコンテンツ造成(2本)

【7 ジオツーリズム・阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業】

ジオツーリズム促進の一環として、推進協議会と連携して、発行物の多言語化を進めます。

【8 阿蘇地域におけるインバウンド向け旅行商品に関する説明会】

観光庁事業を活用し、令和4年度及び令和5年度の2か年にわたり造成した旅の商品に関し、旅行業者などとの説明会に参加します。

	【総額 25,600千円 (補助金等予定額 / 15,178千円)	
予算額	① 地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業	
	・ ・ 全国観光圏連携 (定率補助)	1,200千円 (178千円)
	② 九州3観光圏連携事業	300千円
	③ 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業	100千円
	④ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金	1,000千円
	⑤ 令和6年度阿蘇地域観光リーダー育成講座	3,000千円
	⑥ 地域観光新発見事業	
		18,000千円 (定率補助) (15,000千円)
	⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業	500千円
⑧ インバウンド向け旅行商品の説明会	1,000千円	
⑨ 事務経費	500千円	